

夢、私たちに。

わたしのひとこと



1960年の断層って？

新田 松沢 正明

「日本人には二種類いる」といっても、男女の二種類ではない。1960年以降に生まれた人「60年型」と'50年代までに生まれた人「旧型」の間で、日本人を二つに分ける「1960年の断層」がある。著者 岩村暢子さんの本です。今まで「今の〇〇は」と言ったりしませんでしたか？ 私のも'50年代生まれですが、いろいろな地区の役職を経験する中で、価値観に「違和感」を感じる事が、世代間の違いだと思っていました。それが敗戦にさかのぼるとは、受けた教育が戦前教育か、戦後教育かに始まり、その世の中の背景やら、体験した違いによって「言葉の意味」までも違いが生じたと言うのです。本の終わりに、違いを強調するために書いたのではなく、お互いを見つめ直すヒントとしてほしいと締めくくっています。「60年型」の時代になる今、「旧型」の方に興味を持って頂ければ。



行政とのつながり

八方 丸山 幸彦

平成24年より2年間八方地区の惣代、区長として行政に係わる機会を戴きました。それまでは、目立つことをせず、地区の行事は無難にこなす事としてきました。

そんな私に担当者としての話が持ち込まれ、目立たず騒がず1年間で担当を終わることを考えていましたが、始まればそんなわけにもいかず、行政の右も左もわからないまま走りだす自分がそこにいました。地区の仕事の中では役場の方々と接する機会も多く、未熟な私のために時間をさいいただき感謝しております。一方で、個人の意見としては、役場に勤めるということは「村の未来に携わっている」と自覚を持って、より良い白馬村を目指して、日々勤めていただきたいと感じるようになりました。このことは職員の方々に限らず、村会議員の方々や村長にも言える事ではないでしょうか。2年間、関係者にはお世話になりました。



楽しみましょう

飯田 平澤 英治

白馬に住んで四半世紀、第二の古里になりました。仕事でも、日常生活でも、深く地域と関わっていることを実感しています。仕事では、景観に配慮した住宅の提案、スポーツでは、壮年ソフトボールや白馬の観光の源であるスキーで地元のスキースクールにお世話になっています。文化面では、吹奏楽団やアルプホルンを通じて、地域のイベントに参加しています。これらのことは、全て楽しみながらやっています。楽しいとストレスはたまりませんので、健康で長生きできるような気がします。

ここ数年は、この楽しみを皆で分かち合えればと、ウイング21ホールの運営に関わっています。村の文化事業活動のお手伝いで、幅広い年齢層の方に何度も足を運んでいただいているような催しものの企画、運営などを行っています。詳細は広報などでもご案内します。

「皆で楽しみましょう。」

編集後記

6月議会後、「集团的自衛権行使容認」が大きく報道されました。その一週間ほど前に阿智村の満蒙開拓平和祈念館を訪れ、祖父の満州体験を歌にした清水まなぶさんの『回想』のCDを購入しました。

山崎豊子著の『大地の子』と重なり、聞かされた戦争の悲惨さに涙し、子どもたちに、そしてこれから生まれてくる子らに、こんな経験をさせてはいけないと強く思うのでした。

来年は戦後70年という節目にあたります。多くの犠牲から学んだ平和な今を「戦前」にしてはいけない。そんな大切な時期であるように思えてなりません。

(伊藤まゆみ)

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 横田 孝穂 |
| 委員長 | 太田 伸子 |
| 副委員長 | 加藤 亮輔 |
| 委員 | 松本喜美人 |
| 委員 | 伊藤まゆみ |
| 委員 | 篠崎久美子 |
| 委員 | 田中 榮一 |
| 委員 | 北澤禎二郎 |

白馬議会だより 109号
平成26年7月31日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 PO印刷(株)

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://www.ihakuba.jp/assembly/assembly.html E-mail gkai@ihakuba.jp



白馬議会だよりは、環境にやさしい植物油型インキと FSC® 認証紙を使用しました。(PO 印刷)